

環境、経済の地域循環を生み出すPFIによる庁舎整備(紫波町)

(1)事業概要

現庁舎は昭和38年に建設され、庁舎の分散化、老朽化、耐震性などの様々な問題を抱え、町民の利便性やサービスの低下、円滑な行政運営に支障を来している。本事業では、これら諸問題を解決し、今後、ますます多様化する行政への要望等に対応するために、現在の本庁舎、第二庁舎、教育委員会事務局及び保健センターを統合した新庁舎(以下「本施設」という。)の整備を行うものである。併せて、本事業の実施により、地域経済の活性化、雇用の創出等を図ることを目的とする。

(2)特徴

オガール紫波プロジェクトにおける中核的な公共施設として、PFI手法による新庁舎の整備を推進。以下の点を基本的な視点として提案内容の審査が行われた。

- ア サービス向上を目指した機能性・効率性の高い庁舎
- イ すべての町民に開かれた庁舎
- ウ 防災拠点機能を備えた庁舎
- エ 町民に親しまれる庁舎
- オ 環境のまちにふさわしい庁舎

(3)ポイント

- 1) 地域振興をめざした、町産木材の活用
構造部材はもとより、内外装材にも、紫波町産の木材を使用することにより、木造建築の魅力を町民に発信。
- 2) オガールエリアとの一体性・連続性
オガール紫波プロジェクトの核であり、紫波町の中心的な公共施設として、にぎわいづくり、経済開発の誘発を創出する役割を担う。また、オガール広場との連続性を持たせることによって、新しい価値を創造する。
- 3) 町民に親しまれる庁舎
オガールデザインガイドラインに沿いながら、機能性を重視したシンプルな構成とし、飽きのこない永続性を持ったデザインを実現。永く町民に愛される庁舎とする。

■事業の主な内容

(出典)紫波町 新庁舎整備事業WEBページ

項目	内容
事業名	紫波町新庁舎整備事業
発注者	紫波町
事業内容	敷地面積 約6,600 m ² 庁舎 約7,500 m ² (アーケード含む。) 公用車駐車場 60 台、来庁者駐車場 90 台、駐輪場 40 台
事業方式	PFI(BTO方式) 設計・建設:平成24年10月～平成27年3月(2年6ヶ月間) 維持管理:平成27年4月～平成42年3月(15年間)
選定事業者	橘建設グループ(代表企業 橘建設株式会社、構成員(代表企業を除く) 株式会社久慈設計、株式会社寿広、岡崎建設株式会社、佐々木建設株式会社、株式会社富岡鉄工所、株式会社十文字組、紫波建設株式会社、株式会社興和電設
事業費関係	2,967,726,941 円(税抜)

完成イメージ図(緑の大通り側 南面)



<http://office.town.shiwa.iwate.jp/download/3010/swgaikanimeizi.pdf>